

# まちの元気を取材

## 特集記事の1年間



広報「ひの」は、毎月、皆さんの元気な活動ぶり取材し、たくさんの「まちおこし」を紹介しています。

この1年間の特集記事を紹介し、今年を振り返ります。

3月号



### 特集 子ども週末活動

毎週土曜日を休みとする完全学校週5日制がスタートして1年。自然・社会体験、ボランティア活動などを通して、喜びを感じてもらおうと、活動を支援する町子ども週末支援活動ボランティアセンターを紹介。子どもたちは「普段体験できないことがたくさん」と遊びの中から多くを学んでいます。

2月号



### 特集 広域で男女共同参画

日野郡4町の広域で男女共同参画社会の実現を目指そうと、日野郡男女共同参画連絡協議会が誕生。この会は「自分たちの手づくりで」と、長い時間をかけて話し合われてきました。各町の代表者らは「視野が広がり活動も活発になる」と話し、まちの絆組みを越えた取り組みに今後期待されます。

1月号



### 特集 2003年にかかる

新しい年を迎え、まちを代表して4人に新年の抱負を聞きました。塚本正夫さんは「たくさんの陶芸を作っていきたい」、谷口理恵さんは「信頼される職員に」、梅林洵一さんは「自分の納得するチューバの音を奏でたい」、西村美香さんは「空手で心と体を強くしたい」などと話していました。

6月号



### 特集 サクランボづくりに挑戦

「まちの特産品になり、地域のジグおこしにつながれば」と、久住地区でサクランボづくりに励む稲田克忠さん（高尾）を紹介。約13年前から始めた30%の農園も今では70%の県内最大規模を誇るようになりました。稲田さんとサクランボの出会いや試行錯誤の日々などを紹介しました。

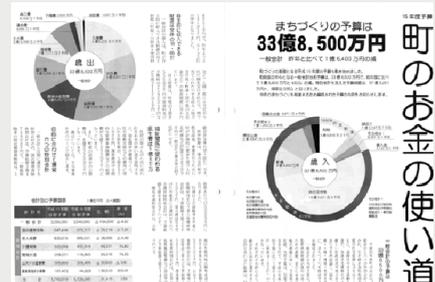
5月号



### 特集 わかとり作業所日野分場

身体や知的な障害のある人たちが通って仕事をする場所が町内に開所しました。障害を持つ人たちの受け皿として期待される「わかとり作業所日野分場」。利用者の自立支援を目指して奮闘するサポーターや利用者の仕事ぶりを紹介。利用者は「自分に自信が付き、毎日が楽しい」と話していました。

4月号



### 特集 まちのお金の使い道

今年度のまちづくりに使われる予算の内容を紹介。福祉・医療・人権・環境・教育を重点に編成された一般会計の予算総額は33億8,500万円。福祉や健康づくりなどの民生費に5億8,951万2千円、まちの返済金の公債費に6億5,220万5千円を予定。主な事業を各課別にして紹介しました。